

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！ 憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2010年 4月 30日 159

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

志位委員長、ルース米大使と会談



(先週の続き)

志位和夫党委員長は21日、ジョン・V・ルース駐日米大使と在日米大使館で会談し、核兵器問題と日米関係についての日本共産党の立場を伝え、意見を交換しました。今号は、普天間基地問題についてご紹介します(ポイントのみです)。

普天間基地問題・・・(志位氏)沖縄県議会は全会一致で決議、県内41市町村長すべてが「県内移設反対」を表明、名護市

新市長は「海でも陸でも新基地反対」と明言。4月25日には大規模県民大会が予定されている。沖縄の情勢は、決して後戻りすることはない限界点をこえている。徳之島集会でも明らかなようにもはや、沖縄県内はもとより、日本国内のどこにも「地元合意」が得られる場所はないと考えています。普天間基地の解決の唯一の道は、移設条件なしの撤去しかありません。これが私たちの主張だということをお伝えしたい。

(ルース大使)「米軍基地問題では意見が異なっている」と述べ、日米安保条約と在日米軍再編合意の重要性を強調しました。同時に、在日米軍基地のインパクト(影響)を軽減しなければならないと認識しています」と述べました。普天間基地に関しては、現行のキャンプ・シュワブ案が最善で実現可能なものと考えていると表明しました。

(志位氏)「日米安保条約にたいする見解は異にしますが、かつて1969年、日米両国政府は沖縄の施政権返還で合意したことがあります。これは沖縄と日本の運動をふまえての、サンフランシスコ条約(第3条)の壁を超えた決断でした」とのべ、「いままさに同じような決断が求められる歴史的岐路に日米関係が立ち至っていると考えます」と述べました。そして、日本共産党の主張は、日米両国間の本当の友好を願ってのものだということを強調しました。

(ルース大使)「立場の違いはあっても、敬意をもってオープンなコミュニケーションを持つことが重要と考えています」と述べました。

春の山菜採りは行かれましたか

山菜の味の決め手になるエグ味は、北緯38度が最高のバランスだそうで、以北では味が薄く、以南ではくどいらしいです。私は何といても「こしあぶら」です。てんぷら・おひたし・胡麻和え・味噌一夜漬け等。その他、山の葉わさび、たらのめ、あいこ、ごごみ、うるい、山うど、みず、わらび、ぜんまい、イワガラ、ふき、アザミ、細竹等あるそうですが、本格的な山菜採りは行っていないのでよくわかりません。最近中々手に入らなくなったという「しおで」は、山菜の女王といわれアスパラに似た美味しい山菜だとか。いずれにしても、今年は寒い日が多かったので少し遅れているとのこと。



こしあぶら



たらの芽



わらび



しおで